

科目名称：	ファッションと生活	
担当者名：	中村 裕美子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
ファッションとは本来「人間の創造的行為」で、ライフスタイルを包括するものです。「どんな時に何を着るべきか?」「自分に似合う服は何なのか?」見た目はその人の内面を表したものです。イメージを「色・形・素材」に落とし込む演習を重ねて、自分に合うファッションスタイルを考察します。また、色の基本を学ぶ中に色彩心理を生活に活かすことも含めます。		
授業の達成目標・到達目標		
「衣・食・住・こころ」の全てに「色彩」の効果を取り入れた選択ができるようになること。自分の体型、パーソナルカラーを理解すること。自身を客観的にとらえつつ、TPO に応じた最適な髪型、メイク、ファッションスタイルでセルフプロデュースできること。		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP(2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP(4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)			70	30	100
ビジネスDP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 パーソナルカラーリスト	《経験年数1》 30年
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
「衣食住・心」に色彩の効果を活かした選択ができること	色彩の効果を最大に生かしたファッションコードを常に表現	心に沿うファッション表現が色でできている	言葉の代わりに色で表現できる	配色方法、心理効果を理解する
自分の体型、パーソナルカラーを理解すること	パーソナルカラータイプの色・人・配色の特徴をすべて理解	アンダートーンの色の違いが理解された表現ができる	なりたい自分のイメージと今の自分との差を理解	自分の肌・髪・瞳の色のアンダートーンを理解
自分を客観的にとらえ、TPOに応じた最適なファッションスタイルをプロデュースできる	イメージを的確に色・形・素材で表現できる	自分の体型、顔の形を活かしたファッションイメージを選択することができる	好きなファッションと似合うファッションの違いを理解している	ファッションイメージの特徴を理解

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 ガイダンス・言葉の代わりに色で表現・パーソナルカラーとは、似合うをディスカッション、カラー診断実習	カラーカードを使って自己紹介できるようにしておくこと、パーソナルカラーの復習理解	30分
第2回 洋服の知識(シルエット、素材、柄、品質表示、サイズ、採寸方法) サイズ計測実習	テキスト p12~32掲載の、自分の持つアイテム調査する	90分
第3回 和服の知識、パーソナルカラーと着物	和服の基礎を理解し、自分の母や祖母などがどんな着物を持っているか調べる	60分
第4回 ファッションスタイル、ファッションイメージの学習	テキスト p36~48 自分に適したファッションイメージの考察	60分
第5回 体型と体型カバーのテクニック、自分の体型を測定(グループワーク)・TPO *メジャー(巻き尺)持参すること	テキスト p52~72、自分の体型について分類方法を調査分析、フォーマルの理解	60分
第6回 色彩学の基礎、配色実習(プリント配布) *カラーカード、のり、はさみ持参すること	テキスト p74~86、配色課題作成	60分
第7回 アンダートーンの配色、パーソナルカラーの色(プリント配布) *カラーカード、のり、はさみ持参すること	テキスト p74~86、配色課題作成	60分
第8回 パーソナルカラーの特徴、診断実習(一人一人の似合うを調査)	テキスト p77~83パーソナルカラーの4つのタイプの特徴をまとめる	90分
第9回 パーソナルカラー診断実習(一人一人の似合うを調査)	持っている服やメイクほどのパーソナルカラータイプか調査	90分
第10回 パーソナルカラー診断実習(一人一人の似合うを調査)	自分のパーソナルカラータイプに合う服や小物、メイクの調査(フィールドワーク)	90分
第11回 ヘアメイク、顔のタイプ診断 *自分のメイク品・ものさしを持参する	テキスト p102~108、手持ちのメイク用品の4シーズン分類をしてまとめておく	60分
第12回 パーソナルカラーを活かした配色実習(グループワーク)	自分のパーソナルカラーグループの配色を考察しカードで作成しておく	60分
第13回 メンズウェアとファッションの歴史	テキスト p88~98、110~116、ファッションの歴史2000年以降の調査し、まとめる	60分
第14回 環境とファッション、セルブツプロデュース(TPO設定しファッションスタイルを発表するためのディスカッションと実習)	テキスト p116、エンカルファッションについて調査	90分
第15回 まとめ 自分のファッションスタイル研究発表後、提出	発表準備プレゼン資料、原稿作成	90分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、予習や考えておくことを小レポートにまとめておくこと。

成績評価の方法・基準
定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。 授業への積極的関与 10% 配付課題への取り組みおよびその評価 50% 期末のレポート、コラージュ課題 40%

課題に対してのフィードバック
授業内で課した課題プリントはルーブリック等で評価し返却する。最終レポートと作品は事務局を通して返却。

教科書・参考書
教科書：基礎からわかるパーソナルスタイリング著者日本パーソナルスタイリング振興協会・発行(株)学研プラス 教材：CUSカラーカード185 (株)カラースペースワム 発行 教科書の該当ページを開きながら解説を行う。